



▲会場には皆さんから頂いた、数多くの善意の商品が並んでいました

福祉の一助にと真心を込めて

中田で伝統行事の石森高市

石森高市（石森コミュニティ運営協議会主催）が6月7、8日の両日、石ノ森章太郎ふるさと記念館前の駐車場を主会場に開催されました。石森高市は元禄年間から昭和40年代まで続いた伝統行事で、一時衰退しましたが地元の熱意で復活し、今年で6年目となりました。期間中には、石森コミュニティ女性部によってチャリティーバザーが行われ、各家庭から提供された食器や衣類、贈答品などが即売されました。この売上金154,300円は、石森地区の寝たきりの人に介護用品券として年末に配布されます。

ひとつ屋根の下で共同生活

南方で4泊5日の合宿通学

南方就業改善センター（西郷公民館）で6月8日から12日までの4泊5日、生活体験宿泊推進事業「合宿通学みなみかた」が開催され、西郷小の4～6年生までの児童51人が参加しました。これは、年齢の異なる子どもたちが家庭を離れ、寝食を共にするという体験を通し、親や家庭の大切さや自主性・協調性などを養うことを目的として開催されたものです。参加した子どもたちは「ご飯を作ったり、洗濯や掃除をしたのは大変だったけど、ずっと友達と行動できて、とても楽しかったです」と話していました。



▲仲間と協力しながら、のり巻きに挑戦する子どもたち

なじみの民謡で8周年を祝う

豊里で老健施設開所8周年記念事業を開催

老人保健施設スマイルとよさとの開所8周年を記念した「民謡ショー」が6月5日、スマイルとよさとの利用者89人を対象に行われました。ショーは民謡歌手、衣川喜仁さん（米山町）など4人がボランティアで開催したもので、「さんさ時雨」や「長持唄」、「秋の山唄」などを披露すると、利用者の皆さんは歌にあわせて手拍子をしたり、一緒に口ずさんだりしていました。その後の昼食では、衣川さんから提供された郷土料理の「はっと」を食べ、利用者の皆さんはとても楽しそうに過ごしていました。



▲参加者は披露された曲に合わせて、みんなで手拍子していました

新緑の憩いの森の中を

米山で春の歩け歩け大会

健康増進と活力ある地域づくりを目的として、春の歩け歩け大会（米山町4地区コミュニティ推進協議会・米山3公民館主催）が6月7日、新緑あふれる平筒沼いこいの森で開催されました。当日は快晴で絶好のウォーキング日和になり、家族連れなど地区住民約90人が参加して、木漏れ日が差す美しい森の中をのんびり歩きました。新鮮な空気を胸いっぱい吸い込みながら、参加した皆さんは、「心も体もリフレッシュできた」「秋の紅葉時に行われる大会にもぜひ参加したい」と話していました。



▲参加者の皆さんは、新緑を楽しみながらゆっくりと歩きました



▲登録されたパトロール犬には、黄色のスカーフが贈られました

毎日の散歩で防犯に一役

迫でワンわんパトロール隊を結成

きたかたワンわんパトロール隊の出発式が6月4日、長沼フットピア公園で行われました。この取り組みは、犬の散歩をしながら地域をパトロールし、不審者を見つけた場合などに警察に連絡、防犯につなげようというもので、佐沼警察署が北方地区の住民の皆さんに呼び掛け、愛犬家126人と愛犬144頭が登録、県内の同様の団体の中で最大規模となりました。飼い主と愛犬には、毎日のパトロールで着用する黄色いワッペンとスカーフが贈られ、式に参加した約50組が最初のパトロールに出発しました。

いろいろな遊びにみんな夢中

登米でとよま元気っ子クラブが開講

登米町地域子ども教室「とよま元気っ子クラブ」の平成20年度開講式が6月9日、登米総合体育館で行われました。この事業は、子どもを取り巻く環境が多様化している近年、地域との交流を通し、自分の考えを伝える力などをはぐくむことを支援するため、登米小学校の児童を対象に開催されたものです。この事業は、年間15回の実施を予定しています。今回は、「LET'S TRY ニュースポーツ」と題して開催し、子どもたちはジュニア・リーダーの皆さんと、いろいろなスポーツに取り組みました。



▲ジュニアリーダーと一緒に、ニュースポーツを楽しむ子どもたち